

のほろ

市の人口

12月末現在
 総人口 55,277 (123増)
 男 27,554 (78増)
 女 27,723 (45増)
 世帯数 16,800 (54増)
 () 内は前月との比較増減



待望の新校舎へ 登別温泉中学校

温泉中学校の新校舎完成により
 一月十一日午前九時から先生・生徒をはじめPTAや市教育委員会などの応援を得て学校の移転作業が行われました。

当日は、あいにく寒さも一段と厳しい日で、しかも冬休み期間中でしたが先生・生徒総出で机・イスや備品などの運搬作業に当たりました。

学校の引越だけに、運ぶ量も莫大で、日本通運のトラック四台のほかに父兄のトラックも加わって新・旧校舎をビストン輸送、手際良い先生の指示もあって無事引越しを終えました。

旧校舎は、昭和二十二年に建てられた木造校舎で、老朽化が著しく、場所を登別温泉入口の旧中野別総合グラウンドに変更して建設されたもので、三学期から心も新たに新校舎での授業が行われています。



3学期からは気分も新たに新校舎でスタート



PTAの応援で引越しもスムーズに



バットもボク達の大事な備品

婦人水泳教室に参加しませんか

登別市民プールでは、冬の運動不足を解消するため、市内に住む婦人(特に初めて水泳をする婦人)を対象にした水泳教室を次のとおり開催します。

- ▽開催日時 二月十六日から三月十四日まで、午後一時三十分から午後三時三十分まで 毎週水・金曜日(八回)
- ▽場所 登別市民プール
- ▽受講料 無料(スポーツ傷害保険料三百円を申し込みと同時に持参してください)
- ▽募集人員 二十名
- ▽申し込み先 登別市千歳町三丁目一の三 登別市民プール
- ▽申し込み期限 二月十日まで
- ▽その他 水着、水泳帽子、バスタオルは各自で持参してください。

1979
2.1

登別特別教室も完備された近代校舎に

登別温泉町一三番地に移転新築された登別温泉中学校は、昭和五十二年と五十三年度の二カ年計画で総額約四億八千九百万円を投入して建設されました。

建設規模は、校舎が鉄筋コンクリート三階建て（総面積二千四百七十平方メートル）で、普通教室三室と特別教室六室（音楽、理科、家庭、図書、美術工作、視聴覚）のほか職員室、校長室、事務室、保健室、生徒会室、相談室などとなっています。



市では、市内小中学校の老朽危険

同校の生徒数は九十七名で一学年一学級となっていますが、特別教室の整備された近代校舎となったばかりでなく、校舎の中央部分に階段を設け、各教室への移動に効率的な配置が取り入れられているほか、屋内運動場に観覧スペースが設けられています。



登別温泉中学校
生徒会長 矢尾板 努 くん

新校舎に変わることで、うれしい反面少し寂しい気もします。私達3年生は、新校舎での授業が1カ月くらいしかなく、旧校舎の思い出がたくさんありますから、できれば旧校舎で卒業していきたくはありますね。

でも1・2年生は大変喜んでますから、やはり最後に引越したいと思いますし、私達もこれでお手伝いができ、これで心なげなく下級生にバトンタッチして卒業できます。

校舎や屋内運動場の増設を年次計画で進めています。現在工事を行っている幌別西小学校校舎増設が完了すると、登別中学校の校舎や屋内運動場の増設を年次計画で進めています。現在工事を行っている幌別西小学校校舎増設が完了すると、登別中学校の校舎や屋内運動場の増設を年次計画で進めています。

食生活改善実習講座と成人病教室を開きます

市では、野菜の不足しがちな二月に、手持ちの野菜を使って、栄養のバランスを考えたい子供向けのおやつの実習講座を行います。

また、成人病予防、早期発見のための成人病検診、衛生講話を実施していますが、「成人病予防は食事から」を基本に、調理実習を通して成人病とは何かを実際に学ぶため、成人病教室を開催します。

- 食生活改善実習講座日程
 - 昭和54年2月26日(月)・10時～12時：登別公民館、13時～15時：中央公民館
 - 昭和54年3月1日(木)・10時～12時：登別婦人センター
- 成人病教室日程
 - 昭和54年2月16日、21日、22日：中央公民館
 - 昭和54年3月1日、2日、5日：登別公民館
 - 昭和54年3月7日、8日、13日：登別婦人センター
- 定員 各地区30名
- 申込み先 市保健衛生課(内線244)
- 申込み先 市保健衛生課(内線244)

市長動静

12月11日～1月10日

- ▽12月11日 相次ぐ来客と懇談。
- ▽12日 第四回定例会市議会、一般質問等に関する打合わせを行なう。
- ▽13日 公害対策審議会に出席。
- ▽14日 青年会議所から九月開催の全道婦人大会光栄賞金を、市民会館建設基金として寄贈を受ける。午後、教育委員と教育問題について懇談。
- ▽14日 第四回定例会市議会を召集、議案上程。
- ▽15日 定例会市議会二日目。
- ▽16日 室蘭市役

「みなさんとNHK」
冬のつどい
2月10日(出)12日(月)
10時～18時

NHK室蘭放送局では、今年も冬の日を楽しく過ごしていただくよう「冬のつどい」を開催いたします。

ご家族おそろいでお出かけください。

（主な催し物）

- 600こちら情報部、鹿野さん 淳ちゃんサイン会(10・11日)
- NHKローカルのど自慢(11日)
- 「北海道の窓」公開収録、「FM夕べのひととき」公開録音(12日)
- 「わたしのお父さんお母さん絵画展」(ギヤラリー)
- ワイドスクリーンコーナー
- 虹孔雀人形展
- 大河ドラマ「草燃える」パネル展など

▽開催時間などくわしいことは、NHK室蘭放送局(電話0143-2727)へお問い合わせください。

—NHK室蘭放送局—

ため市内全域をまわる。▽29日 年末挨拶に来庁の相次ぐ来客と面談。▽30日 中央公民館に全職員を集め事務納め式を行ない休業中の訓示。▽1月6日 事務始め式を行う。▽7日 消防出初式(中央公民館)に出席、引き続き老人クラブの新年会々々場をまわる。▽8日 年始挨拶に訪れた来客と面談。各種団体の新年例会々々場を訪問。▽9日 登別温泉地区の各種施設の現況調査。▽10日 市内数カ所で行なわれた老人クラブ新年会合を訪問激励。夜、青年会議所新年会に出席。

落氷雪による事故を防ぐため
～早めにおろそう屋根の雪～

例年この時期には、大雪や異常暖気等の影響で屋根の雪やつららが落ちて、通行人や軒下で遊ぶ子供が怪我をしたり、屋根で雪おろしをしていた人が滑り落ちて、雪の下敷きになる事故が起きています。このような事故が起きないように次のことに気をつけましょう。

- 自宅や事務所、倉庫などの屋根の雪やつららは、できるだけ早めににおろしておきましょう。
- 子供の遊び場となるような場所でも屋根の雪が落ちる危険な建物があるときは、すぐに雪を落すか、さくを設けるなど、子供が近寄らないようにしましょう。
- 危険な軒下で遊んでいる子供を見かけたときは、安全なところで遊ぶよう注意してあげましょう。
- 歩道に落ちた屋根の雪は、通行人のじやまにならないよう、すぐ取り除きましょう。
- 軒下を通るときは、屋根の雪やつららに注意して怪我をしないようにしましょう。

(室蘭警察署外動課)

12月定例市議会

母子家庭・乳幼児医療費助成制度を拡大

願も採択されました。今議会の主な案件は次のとおりです。

五十三年度の各会計補正予算では、一般会計予算の総額から約二千四百五十万円を減額し、総額を歳入歳出をそれぞれ約百八億七千万円とするもので、仮称乳幼児医療費助成制度建設事業費がそれぞれ減額されました。

また、国民健康保険特別会計が約三千六百五十万円を追加して約九億九千万円に、観光事業特別会計は約百八十万円を減額して約九千七百七十万円に、学校給食事業特別会計では約二百万円を追加して約三億二千九百四十万円に、上野別東部地区土地整理事業特別会計が約十億円を減額して約五億九千九百三十万円にそれぞれ予算補正が行われ、さらに水道事業会計の予算補正も行われました。

このほか、市母子家庭児童医療費助成条例と市乳幼児医療費助成条例の一部改正案が提案、可決された。

このうち市立保育所設置条例の一部改正案を修正可決したほか議案十四件を原案通り可決、また諸

第四回定例市議会は、昨年の十二月十四日から二十日までの七日間の日程で開会されました。本議会には、報告四件、十五議案、請願一件が審議されたほか、市議会議員五人による一般質問が行われました。

年々、スポーツ活動が盛んになるとともに、体育協会をはじめ、朝野球同好会、中学校体育連盟、小学校体育連盟、家庭婦人スポーツサークル等数多くの組織が生まれました。

それにつれて、練習場や試合場も必要となり、総合体育館、青少年会館、陸上競技場、テニスコート等が整備されました。また、スポーツの必須条件である対外試合も多くなり、サッカーハンドボール、剣道等の全国大会出場をはじめ全道大会の出場選手

「体育振興基金制度」にご理解を

の数も相当数に達するようになりました。そして、トレーニングウェア、ユニホーム、用器具、選手の派遣旅費等にかかる経費も莫大であるため、選手個人にかかる負担はかなりの額に達しています。これまでは、市からの補助金、各種後援会やPTA等の寄付金をこれらの経費の一部にあててきましたが、今後は恒久的に負担解消を図るため、市では昭和五十三年度から「体育振興基金条例」を制定しました。

この体育振興基金条例は、市民の理解と協力を得ながら、市が一定期間、一定額の金額を積立て、これを資金として生ずる利息を、体育振興のために充てるというものです。今年度の目標額は四千万円(市の一般財源二千万円、寄付金二千万円)です。今年度からスタートした制度ですが、将来の体育活動の推進のために、市と各種団体および市民が協力して、体育の振興をはかろうとする制度ですので、この主旨について特段のご理解をおねがいいたします。(体育振興課)

雇用対策救済事業を行います

市では、次の要領によって雇用対策救済事業を実施します。

- この事業は、
- ※ 構造不況、特定不況といわれる業種の会社や、その関連下請け会社の合理化、倒産等のために失業した人を、一定期間、市で雇用して再就職するまでの生活安定を図ることを目的としています。
- ※ 対象者は、次に掲げる条件を満たす。

- ① 市内に一年以上居住し、引続き居住しようとする人で、扶養親族のあること。
- ② 構造不況、特定不況の影響を満す人です。

- ③ 公共職業安定所に求職届を出していること。
- ④ 雇用保険の失業給付の受給資格を有しないこと。
- ⑤ 年齢が65歳以下であること。
- ※ 賃金は、軽労働で三千元、中労働で四千元、重労働で五千元でいずれも一日分の賃金です。
- ※ 仕事の内容は、市有建物、施設の清掃や補修のほか、市道の除雪などが主です。
- ※ 実施期間は、すでに新聞等でお知らせしている通り、一月十六日から三月三十一日までです。
- ※ お申し込みは、市経済労働部労政課(電話⑤2111内線275)へどうぞ。

水道凍結にご注意

寒さが厳しくなり水道凍結事故が多発しています。ちょっとした不注意から、水道管が凍結すると、水が出なくなるほか、管破裂、地下凍結へと思わぬ方向へ発展してしまいます。家族みんな注意し、水道凍結を防止しましょう。

断続音を発しながら落ち、また蛇口にあてた手が吸込まれる状態になりますので、確かめてください。



- ◎ 量水器ます内に断熱材(新聞紙等でもよい)を入れ、ふたを完全にしておきましょう。
- ◎ 台所、洗面所、浴室などは就寝前(寒さが特に厳しい時は昼間でも)必ず水を落しおきましょう。
- ◎ 水は次の要領で完全に落しおきましょう。

①蛇口を全開にし水を出します
②水抜栓のハンドルを完全に締めましょう。水が落ちる時は、受け、やむを得ない理由により離職していること。

冬の交通事故を絶滅しよう



冬期間は、積雪・凍結などにより交通事故発生危険が多くなります。今年度の冬も一月に入ってから、大きな事故が続き、死亡者が出ています。運転者は、交通ルールを正しく守り、雪道での事故防止のため、次のことに注意してください。

- 雪道での速度は10km/hダウンする
- 雪道での走行速度は、夏より10%減速しないと、危険を避けることができませぬ。
- 雪道では急ブレーキ
- 急ハンドルをしない
- スリップや横すべりの原因となり、危険です。
- 車間距離を十分に
- 車間距離は、夏の三倍から五倍が必要です。

2月1日からゴミ焼却場試運転開始 ゴミの分別を完全に



2月1日から試運転が開始される登別市清掃工場

二月一日から、ゴミ焼却場の試運転が開始されます。

ゴミ焼却場の運営を円滑に運ぶためには、市民一人ひとりの理解と協力がなにより必要です。

ゴミの分別は昨年の十二月一日から実施されていますが、みなさんの家庭では「燃やせるゴミ」「燃やせないゴミ」に分けて出されているでしょうか。

市民のみなさんの理解と協力を得るために、二月一日から始動するゴミ焼却場の紹介を兼ねて特集を組んでみました。

なぜゴミ焼却場が 必要なのか

これまで、各家庭や事業所などから出されていたゴミは、千歳町と上登別町の二カ所の「ゴミ処理場(捨場)」に運搬、埋め立て処理をしていました。

ところが、年々増加するゴミのため、捨場の確保、公害問題などのため恒久的な対策として、焼却処理への転換がどうしても必要になってきました。

ゴミ焼却炉の大敵は プラスチックなど

このため、市では約十億円の費用を投じて、五十年代から四十年計画でゴミ焼却場の建設を進めてきました。二月一日から試運転が行われ、四月から本格的に操業します。

このゴミ焼却場で

は、一般家庭から出されるゴミの約七十五パーセントから八十八パーセントを焼却します。

残りの二十五パーセントから二十パーセントは、燃やせないゴミとして集められ、残灰と一緒に千歳町の捨場で処理することになります。

ゴミの量の増大などによって、焼却処理が必要になってきたわけですが、合理的で衛生的な反面、ゴミの処理経費が増加することにもなります。

ゴミの処理費は一ト当たり約一万

現在、燃やせるゴミとして収集されているゴミは一日約四十ト、燃やせないゴミは約十トとなっていますが、ゴミ焼却場では、一日八時間操業で六十トの処理能力を持っています。

また、炉内温度は七百度から八百度で、有害ガスは熱分解される

円以上で、ゴミの量を減らすと、それだけ経費の節減につながるというのを改めて考えなくてはなりません。

ゴミの取り替には、一回約三千五百万円という多額の経費がかかります。全くムダな負担となります。

このように、ゴミ処理の経費の増加・減少は、市民のみなさんの協力が決め手になります。

最大の課題である「ゴミの分別収集」がスムーズに運ぶよう、ご理解とご協力をお願いします。



伊前 伊内の燃焼状態を監視しながらゴミを燃やします



ゴミはクレーンで燃焼室へ



炉内—階段ストーカーの上で適度に反転、焼却されます

対話集会に 参加しませんか

市民のみなさん、昨年の十月から市内各地域でゴミの分別収集について、説明会が行われました。そして十二月から、燃やせないゴミ、燃やせるゴミの分別収集を実施しています。これらについての問題点やアンケート調査の結果をもとにして、話し合いを行います。

次の要領で対話集会を開きますので、ご近所お誘い合せのうえ、お集まりください。

日時 昭和54年2月23日(金) 10時から12時まで

場所 登別市中央公民館二階

テーマ 分別収集の実践状況と問題点について

主催 登別市生活学校

専門メンバー 登別市衛生部長 ほか関係者

事業者のゴミは自己処理しましょう

市場や商店、飲食店、ホテルなど（事業所）から出されるゴミはそれぞれ事業者が責任をもって処理するよう義務づけられています。（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）

したがって、事業活動から出るゴミは、周囲に迷惑をかけないよう自己処理するか、事業者が自ら搬出して処分しなければなりません。市で処理する場合は、量に応じた有料になっています。

このように事業所のゴミは、自己処理することが原則になっています。このほか、一般市民が引越したりやそうじなどのため、一度に多量のゴミを出される場合は、「臨時のゴミ」として市が収集運搬、処分します。

この場合、トラック一台につき千三百円の料金をいただくことになります。

産業廃棄物の取り扱い

産業廃棄物の取り扱い

一般の家庭から出されるゴミの外に、事業活動で排出されるゴミとして産業廃棄物があります。

産業廃棄物は次のとおりです。紙くず、木くず、セシイくず、動物性残渣、金属くず、ガラスくずと陶器くず、建設廃材、燃えがら類、（原則として、市の捨

場での処分が認められないもの）：ゴムくず、紙くず、家畜のふん尿、家畜の死体、ダスト類、汚

い、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類（タイヤ）、その他）

しかし、特に建設廃材を市のゴミ捨て場に搬出して来るものが多くなっています。

産業廃棄物は、運搬、処分とも事業者がしなければなりません。

特に収集、運搬については、市では行いません。市の捨て場で処分するときは、次のことを守っていただきます。

●捨てる前に市の許可を受けること。（衛生センターに申請用紙があります）

●捨てるものには、有害物質があると認められるものは許可しません。

●処分される廃棄物百キロにつき二百円（一トにつき二千円）の料金がかります。



ゴミの分け方、出し方

お願い

- 物を大切に、ゴミの量を少なくしましょう。
- 多量のゴミは数回に分けて出してください。
- 集積所の清潔保持のため、集積所に出す時は一人一人が責任を持ち近所の人に迷惑をかけないようにしましょう。

- 収集後に出された方は必ず持ち帰り、次回に出してください。
- 収集日の前日や夜間は絶対に出さないでください。
- 収集日以外に出される方がありましたら、お互いに注意しましょう。
- 日常各家庭で二種類のくずかごを用意するなどして、燃やせるゴミ、燃やせないゴミの分別を徹底しましょう。

ゴミの分け方

区分	収集するゴミの種類
可燃物	台所のゴミ（料理くず、残飯、果物の皮、お茶がら、卵のから等）たばこの吸殻、再生のきかない紙くず、チリ紙、割りばし、紙パック、牛乳のフタ、掃除機のチリ、木くず等
燃やせないゴミ	プラスチック製品（シャンプー、洗剤の容器、食品用パック、玩具等）ビニール製品、ナイロン製品、発泡スチロール、ゴム類（運動くつ、サンダル等）皮製品（靴、カバン等）カミソリの刃、陶磁器類（茶わん、皿、花瓶、植木鉢等）電球等、空ビン（酒、ビール、清涼飲料水、正油、牛乳、カルピス、ソース、酢、ウイスキー、マヨネーズ、インスタントコーヒー、天ぷら油、ドリンク剤のビン等）空缶（ビール、清涼飲料水、缶詰、粉ミルク缶、正油、食用油、海苔、菓子類缶、一斗缶等）割れたガラス、ビン、布類（ビニール系布類）金属類（なべ、かま、鉄くず等）
収集しないもの	タイヤ、廃油、有毒性物質を含むもの、危険なもの、収集に支障をきたすもの等

収集日程

収集計画日程表 12月1日より実施		
町名	燃やせるゴミ収集日	燃やせないゴミ収集日
美園町・若草町・新生町	火曜日・金曜日	第1, 3水曜日
鶯別町	〃 〃	第2, 4水曜日
栄町・若山町3~4・大和町 富岸町	〃 〃	第1, 3木曜日
若山町1~2・桜木町・緑町 ・片倉町・新川町	月曜日・木曜日	第1, 3火曜日
富士町・柏木町・中央町・常盤町	〃 〃	第2, 4火曜日
登別温泉町・カルルス町・上登別町	〃 〃	第1, 3金曜日
富浦町・登別東町・登別本町 ・登別港町・中登別・幸町	水曜日・土曜日	第2, 4木曜日
幌別町・千歳町	〃 〃	第1, 3金曜日

別校 定時制課程 生徒を募集中

市内片倉町にある道立登別高校
定時制課程では、昭和54年度の新
入生の募集をしています。
願書受付は、二月二十八日まで
で、就職内定証明書を添付してい
ただきます。

同課程は、昭和二十三年開校以

住宅金融公庫の

申込み受付期間を延長

住宅金融公庫では、現在受付中
(昭和五十四年一月三十一日迄)
の次の、個人向け特別貸付等につ
いて、受付期間を昭和五十四年二
月二十八日まで延長しました。

- ◎個人住宅建設資金貸付け
 - ◎住宅積立貯金預金者購入資金貸付け
 - ◎住宅改良資金貸付け
- また、住宅金融公庫では、財形貯蓄をしている勤労者(三年以上行い、その残高が五十万円以上ある方)を対象に財形住宅融資の申込み受付を、昭和五十四年二月二十八日まで行なっています。
- 詳しいことは、住宅金融公庫札幌支所住宅相談所または個人住宅課(電話011-271-651)にお問い合わせください。

ゆのくにも 明るい未来としあわせを

郷土史探訪

ジョン・バチエラーと登別Ⅲ

北海道開拓使が廃止され、札幌、函館県、根室県の三県が設置された明治十五年に、札幌県節範学校で教育をうけて、当時としては立派な教養を身につけた・金成太郎という人が札幌にいました。このことを知ったジョン・バチエラーはその時のよろこびを、英国CMS伝道協会のフニン師にあてた手紙の中で、次のように書いています。

「一八八五年(明治十八年)七月二十一日、日本、北海道、ポロベットに札幌に

私の今滞在しているところは、札幌と函館の間にあるアイヌ語ポロベットという所です。この村には、約二百十人の人が

いますが、私がピラトリ(平取)に行くかわりにここで止まった理由は、次の通りです。

モロラン(室蘭)とよばれる日本人の村に到着した時に、ポロベットに人格のたいへん立派な若いアイヌ人がいることを聞きまし

た。

彼は日本の初等教育、高等教育をうけ、政府から校長の免状をうけている男で、名前をカンナリタロウといっています。

彼は校長の免状をうけています。最近学校で教えるという特別な仕事を離れて、彼の父の仕事の管理をしている事を知らされました。

ポロベットに着いた夕方、私は

彼に連絡をとりました。そして、アイヌを訪ねる私の目的と気持ちを説明しました。彼は、ただちに私の援助者になる意思のあることを表明したし、翌日、彼の父も心から承諾したことを言いに来ました。

すぐに私と仕事を始める準備にかり聖書と教義の一部を読むことと翻訳する作業を七週間続けました。

カンナリタロウは、若い男(当時二十歳)なので、二、三年は仏教と儒教の教えの中で、キリスト教をさがし求めるでしようし、儒教の道徳が最も良いと思うかもしれ

ません。

しかし、彼はまた洗礼をうけていませんが、信者で最初からアイヌの教会とアイヌの学校を自分達でつくり維持するための基金を集め、毎月一円ずつの寄付をはじめています。そして、アイヌの教会と学校の為なら必要なだけの土地を貸すと望んでいます。

ポロベットコタンには、私達が訪ねた他のどんな村より良いアイヌ人がおられますし、特に六、七人の人達はキリストの教えに心をむけています。

大部分のアイヌの男達は、今の時期はここを離れて漁に行っている。私は彼とともに札幌と平取に出発しようと思っています。」

金成太郎は、このようにしてバチエラーと出会い、キリスト教への学習を深めると同時に、バチエラーにはアイヌ語を教え洗礼をうけることになりました。

明治十八年十二月二十五日、十二使徒の頭ベテロの霊名を名づけられました。

アイヌの父といわれたバチエラーが、母国イギリスを離れて日本へきたのは、明治十年(一八七七年)でしたが、九年目にはじめてキリストの十字架の印をアイヌ人に印した彼の感激は、想像をこえたものであり、太郎に対する信頼は本当に大きなものであったと思います。

一方、太郎の父金成もバチエラーの布教に対する熱心さと真心を知って、札幌の現在の四丁目にある自宅の側、三つの小さい部屋と台所のある別室をつくり、函館から移住して布教活動をすることを願ったので、バチエラーはアイヌ伝道を中心を函館から札幌に移すことを決意します。

そして、バチエラーは約十年間住みなれた函館を出発して、ルイザ夫人、召し使ひパラビタと妻アソシコルタをして子供のキンの五名で札幌に向かっています。

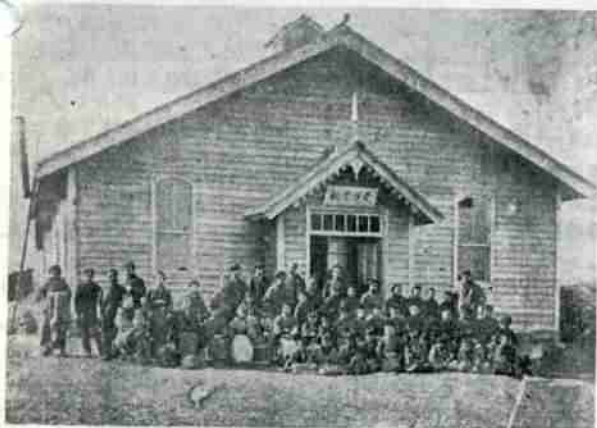
これは、明治十九年五月二十日のことで、バチエラーは数え年三十三歳、妻ルイザは年上の四十四歳でした。

当時、函館、室蘭間は月に三度ぐらゐの船便がありました。天候の状況や荷役の都合で欠航も多く、大抵は森まで陸路をたどり、森・室蘭間の定期船は毎日あったので、噴火湾をわたる約四時間で当時の新室蘭に上陸しました。

バチエラー達も同じ経路で森から、やこし丸という船に乗り、船酔いに悩まされながら到着し、室蘭で二泊してから、エトモ、ワニシ、イタンキの各コタンを訪問し五月二十二日に札幌に到着しています。

バチエラーが、札幌を中心に胆振、日高地方への布教活動したのは、明治三十五年(一九〇二年)に札幌に転住するまでの六年間でした。

(登別市郷土文化研究会)



幌別町5丁目2番地付近に建てられていた愛隣学校。校主は金成太郎、校主代理は片倉家旧家臣の子で蔵別村に住む河田為助であったということです。この時の首長は、幌別村外二力村戸長の日野愛憲でした。



感激をキネに集めて若い力がおもちつき

文芸

「川柳」

抱いた子の笑顔に負けた不精鬚
粟崎 竹風
染みこんだ親の甲羅を捨て切れず
千葉 風雨
平凡でいいと祈って産んだ筈
竹崎 如月
自叙伝にかけば貧苦も美談めく
磯井 正子
温かい気持ち再起の鍵となる

竹田 保治
石橋を渡るはかなきかたつむり
種田 琴舟
脚色をしたい女のまわり道
吹 と志子
聞き流す術も身につき女道
高橋 純子
横文字に媚びて漢字に見離され
柿崎 理道
悪妻も夫がいての果報者

厳しい社会へ六百七十二人船出



形に取られず、思い出に残る成人祭をと——一月十四日・十五日の二日間にわたり登別市成人祭が婦人センターを会場に開催されました。

・人生の一つの区切り、を迎えたのは六百七十二人。会場には四百七十三人の新成人が集まり、なごやかな中にも「一人前」の誓いを新たにしました。

今回から、式典と切り離された前夜祭では、平服で終始リラックスマード、ダンスやもちつきなどで楽しいひとときを過ごしています。

不用品ダイヤル市

おわけします(売り)
セミダブルベッド、子供用自転車(4〜5歳用)、足踏式オルガ

新着図書案内

市立図書館 電話54324

・シヤガールの馬：虫明亜呂無、黒き日本海に消ゆ：五十嵐通、右京局小夜がたり：永井路子、土を喰ふ日々：水上勉、むかしの歌：戸板康二、スターリン暗殺計画：松山良昭、虐殺の島：石原昌家、傭兵たちの挽歌：大藪春彦、サイカチがやって来た：藤本義一、人生仮免許：山口瞳、オーバノ：開高健、執念の家譜：永井路子、イソップの首に鈴をつける：小峰元、私を変えた聖書の言葉：竹野綾子、

二月のカルルススキー場日程



▽二月四日 第四回ヤマハジュニア大回転
▽二月十一日 第四回会長杯全道ジュニア大会
▽二月二十五日 基礎スキー検定会

※ スキー場のコンディショニングはカルルススキー場(電話0143842872)へお問い合わせください。

ご寄贈ありがとうございます

ごさいます(敬称略)

養護老人ホーム恵寿園へ

○物品寄贈：豊原正、松浦清治、西野キタ、栄町区内会長望月為太郎、スナッククラブ、室蘭地区工業用水道管理事務所、志賀食品店、登別厚生年金病院吉原晴、高畑商店、小原製麵所、ダイヤペーパー長谷川商店

○現金寄贈：山名建設二件、登別商工会議所青年部、老人クラブ緑寿会、登別市職員自治振興会、相原亮平、森義紀、札幌倶楽部センター、登別市昭和会

○物品寄贈：登別連合町内会、登別婦人会、こそで会、中野平内男寺井美保子、第一滝本館、前川了富岸小学校PTA、高松幾三郎、匿名三件

○古切手寄贈：坂本武、草塩建設、上田商会、渡辺吉次、老人クラブ緑寿会、国立登別病院患者一同、宮下ふじの、登別北自運輸、市役所市民税課、公聴広報課、木村ノブ子、大橋タマ、登別大谷高校、山瀬隆幸、小西豊子、和田産業、東小学校児童会、永森

・草宴：瀬戸内晴美、飯沢匠の社会望遠鏡：飯沢匠、掘った等った逃げた：アルベール・スバジアリ、花園：田久保英夫、ニ等兵は死なず：豊田稔、ヤポネシア：霜多正次、ニクソン回顧録：リチャード・ニクソン、アガサ・クリスティ「自伝(上下)」

・週刊文春と内閣調査室：吉原公一郎、ブレイクアウト：ロン・ルフロア、エマとわたし：シラ・ホッケン、ともだちねむの木そして私：宮城まり子、チャップリンとウイナ夫人：フレデリック・サンズ、情事：森橋子、獅子の窟下：古川薫、オキアミ戦争：刀根正樹



公民館講座を開きます

市教育委員会では、「着付け」「ひな祭り用和紙人形づくり」
「組みひもづくり」の各教室を次のとおり開催します。
この機会にぜひ申し込みください。

着付け教室

- ▽会場・日時・講師および申込み先。 鷺別公民館 2月15、17、19、22日、午前10時～12時、工藤恵子先生、鷺別支所(電話⑥6111)
- ・ひまわり園 2月15、16、19、23日、午後6時30分～8時30分、工藤恵子先生、鷺別支所(電話⑥6111)
- ・登別市婦人センター 2月21、22、23、24日、午前10時～12時、清水和子先生、登別支所(電話③1131)
- ・登別温泉公民館 2月17、19、21、23日、午前10時～12時、中西イクエ先生、登別温泉支所(電話④2068)
- ・中央公民館 2月24、26、27、28日、午前10時～12時、中西イクエ先生、市教委社会教育課(電話⑤2111内線352)
- ▽定員 各会場とも三十名

▽各自用意するもの 着物、着付け用具一式
▽内容 「美しい着物の着方とそのコツ」
※受講料は無料です。定員になり次第締め切りますので、早めに申し込みねがいます。

ひな祭り用和紙人形づくり教室

- ▽会場・日時・申込み先。 登別温泉公民館 2月9、10日、登別温泉支所(電話④2068)
- ・中央公民館 2月12、14日、市教委社会教育課(電話⑤2111内線352)
- ・登別市婦人センター 2月16、17日、登別支所(電話③1131)
- ・鷺別公民館 2月21、24日、鷺別支所(電話⑥6111)

予 防 接 種

◎接種上の注意 母子健康手帳を持参。接種前日は入浴し、当日は清潔な肌を着用。体温は必ず家で計ってくる。子供の健康状態の良好な時に接種する。接種前後に激しい運動をさせない。できるだけ母が付き添う。◎次に該当する人は、予防接種は受けられません。発熱している人、または著しい栄養障害者・心臓、じん臓、肝臓の病気がかかっている人。アレルギー体質または副反応をおこしたことのある人。種痘・BCG・はしか・ポリオの子防接種を受けて1カ月を過ぎていない人。風疹、はしか、水ぼうそう、おたふくかぜが治って1カ月を過ぎていない人。◎対象児 3種混合 第1期…生後24カ月から生後36カ月未満の人。第2期…生後36カ月から生後48カ月未満の人。ツベルクリン反応 生後3カ月から48カ月の未接種者。BCG 生後3カ月から48カ月の人でツベルクリン反応が陰性だった人。破傷風 3歳以上の希望者。

場 所	時 間	予 防 接 種 名			
		三種混合	ツベルクリン反応	BCG	破傷風
ひまわり園	1:00～1:30	2月28日			
鷺別公民館	1:45～2:15	2月28日			
富浜児童館	1:00～1:30	2月6日	2月20日	2月22日	
登別公民館	1:00～1:30	2月28日			
登別温泉公民館	2:00～2:30	2月6日	2月20日	2月22日	
中央公民館	1:00～1:30	2月8日			2月15日
商 工 会 館	1:00～1:30	2月15日 3月8日			

※3月8日の三種混合は、二階会議室で行ないます。

3歳児健康診査
医師、歯科医師、保健婦、栄養士による3歳児健康診査を、次により無料で行ないますので、対象者はもれなく受診してください。

◎注意するもの
母子健康手帳、バスタオル、換えオムツ
※午後の部の終了時間は3時頃になる予定です。
※貴重品等は会場に持ってこないでください。

去る一月十四、十五日に行われました、昭和五十四年成人祭に都合が悪く参加できず、記念品を受け取れなかった方に、記念品を差し上げますので、次の場所へおこしください。
場 所 登別市教育委員会・社会教育課または各支所
期 日 二月二十八日まで

成人式の「記念品」を受け取ってください

▽各自用意するもの 筆記用具
▽申込み先 市教委社会教育課(電話⑤2111内線352)

離乳食講習会
栄養士による離乳食講習会(実習指導)を実施します。
対象児をお持ちの方は受講してください。
実施月日・時間 3月2日：午

2月の健康相談
実施日・場所
2月13日：鷺別公民館、2月16日：中央公民館、2月19日：登別公民館
受付時間
午前の部：10時～10時30分
午後の部：13時～13時30分
内容
午前：成人病相談、妊婦相談、家族計画相談、幼児相談(一歳以上)
午後：赤ちゃん相談(6カ月、9カ月児)、その他相談のある乳児(二歳未満)

※四会場とも時間は、午前10時～12時までです。
▽講師 永森敬子先生
▽材料費 受講料は無料ですが、材料費として千五百円かかります(当日徴収いたします)
▽各自用意するもの ものさし、はさみ、鉛筆、目うち、木工ボンド、綿花、白黒糸、竹串
▽定員 三十名
組みひもづくり教室
▽日時 2月10、14、15、20日、午前10時～12時
▽会場 中央公民館和室
▽講師 加藤恵美子先生
▽定員 三十名
▽受講料 無料

赤ちゃん(3カ月児)相談
内容 医師による診察、計測、生活指導、栄養指導
◎用意するもの 母子健康手帳、換えオムツ、バスタオル
◎日程 2月27日：鷺別公民館(受付時間12時～12時15分、鷺別地区の昭和53年11月出生児) 2月28日：中央公民館(受付時間12時15分～12時30分、中央地区の昭和53年11月出生児)
※当日の終了時間は3時頃になります。

前10時～12時
◎場所 中央公民館
◎対象 3カ月～6カ月児をもつ母親
◎定員 30名
◎申込み期間 2月1日～2月28日(定員になり次第締め切ります)
◎申込み先 市衛生部保健衛生課(電話5局2111内線279)
※母子健康手帳をご持参ください
※当日、子供さんはつれてこないでください。
※エプロン等は必要ありません。

◎健診内容 心身の発育状況、病科検診、栄養指導、生活指導
◎対象児 昭和50年9月1日から昭和51年1月31日までの出生児および、前回(昭和50年2月/8月の出生児)受診していない児(満4歳児は除く)
※母子健康手帳をご持参ください
※健診は2時間位かかります
※当日、尿検査がありますので、会場でさせていただきます。

区分	実施場所	受付時間	対 象 地 区 (町名)
2月20日	鷺別公民館	11:30	登別温泉・中登別・富田・カルル
		12:30	登別東町・登別本町・登別港町
2月21日	中央公民館	11:30	柏木・富士・緑・片倉
		12:30	新川・来馬
2月22日	中央公民館	11:30	常盤・幸
		12:30	中央・新栄・幌別・千歳川上
2月23日	鷺別公民館	11:30	栄・美園・富
		13:00	和